

ぼうさい甲子園 佐野が特別賞

力合わせ 学校祭成功

優れた防災教育を顕彰する2020年度の「ぼうさい甲子園」(1・17防災未来賞)毎日新聞社など主催)で、県内からは県立佐野高校(佐野市天神町)が「しなやかwithコロナ賞」に選ばれた。新型コロナウイルスの感染拡大で、各校が文化祭を中止する中、生徒会を中心に感染防止策を徹底して開催し、成功させたことが評価された。

【松本光樹】



学校祭「旭城祭」当日の佐野高校の入り口には、検温所が設けられた

生徒が感染防止策を徹底



学校祭「旭城祭」ではソーシャルディスタンスを保つため、教室内に足跡を印刷した紙が貼られた

しなやかwithコロナ賞は、今回特設された特別賞。コロナ対策や防災活動の中で「感染症対策など、積極的な取り組みに授与される。同校では、コロナの影響で運動会を中止。実行委メンバーが1

者に限定▽生徒会や

の結果、招待者は保護

か実施にこぎ着けた。

談。8月30日、なんと

か実施にこぎ着けた。

藤純香さん(18)は受賞

について「取り組みが

評価されてうれしい」と

とし、「一年で一番大

きなイベントで、特に

3年生にとっては最後

後。何とか開催できて

自信につながった」。

同祭実行委員長の3

年、熊倉幸寛さん(18)

は「前例がなく手探り

の中、仲間と毎日話し合いに話し合いを重ねた。力を合わせて開催できたことは、これまでの人生で一番大きな出来事になった」と話した。

時間ごとに巡回して換気や消毒を実施▽会場の混雑状況をタブレット端末で集約して来場者に周知—などの対策を学校に提示した。

こうした努力が、当初開催が難しいと考えられていた学校側を動かした。同校は生徒らの提案を受け、県教委に相談。8月30日、なんとか実施にこぎ着けた。

生徒会長の3年、斉藤純香さん(18)は受賞について「取り組みが評価されてうれしい」とし、「一年で一番大きなイベントで、特に3年生にとっては最後。何とか開催できて自信につながった」。

同祭実行委員長の3年、熊倉幸寛さん(18)は「前例がなく手探りの中、仲間と毎日話し合いに話し合いを重ねた。力を合わせて開催できたことは、これまでの人生で一番大きな出来事になった」と話した。